

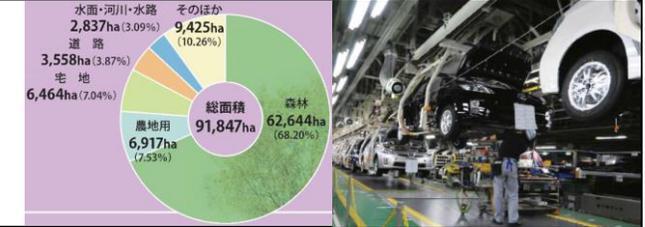
愛知県豊田市・世界ラリー選手権(WRC)を活かした環境にやさしく安全にクルマを楽しめるまちづくり事業

背景

- ・ 豊田市の面積は918km²と広大で、7割を森林が占め、山村地域は過疎化が急激に進行。
- ・ 主要産業である自動車産業は、グローバル化やカーボンフリーへの急速な転換が進む。

現状の課題

- ・ 課題 1 : 山村地域における観光入り込み客数の減少。
- ・ 課題 2 : 山村地域の人口減少。
- ・ 課題 3 : 自動車産業の大変革への対応。



事業の目的

- ・ WRCを核としたラリーをまちづくりにいかし、山村地域の振興、交通安全の推進、産業の振興を図り、官民が連携して地域課題の自主的、自立的な解決を図る。

これまでの取組

- ・ トヨタガズーラリーチャレンジやシロキヤラリー等を誘致し、集客と交流人口を増加。
- ・ 官民が連携してWRC日本大会(ラリージャパン2021)の開催を支援。(残念ながら中止)

事業内容

- ・ 日本で初めて自治体がWRC開催に立候補(2022年11月決定予定)し、2023年以降の愛知岐阜での継続開催を目指す。
- ・ WRC開催のインパクトを活用し、地域資源の価値の向上による地域の活性化を推進。
- ・ 環境にやさしくクルマを安全に楽しめるコンテンツの造成やイベント等の開催、国際会議等での広報の実施。



愛知県豊田市・世界ラリー選手権(WRC)を活かした環境にやさしく安全にクルマを楽しめるまちづくり事業

得られる
成果等

- ・ WRCの継続的開催により「WRCのまち」のシティブランドを構築し、地域課題を解決。
- ・ 既存のラリーや観光施設等の地域資源の価値向上による通年の集客や交流人口の増加。
- ・ ラリーで鍛えられた安全・環境技術の市販車への反映とクルマの魅力アップ。

寄附を
する
メリット
等

- ・ WRCは2022年には世界で13戦を開催。
- ・ 欧州や南米では1大会で100万人超集客。
- ・ TV放映:世界150局、視聴者数:5億人超、オンライン視聴:2億回以上。
- ・ 豊田市が挑戦するラリーをいかした地域再生に企業版ふるさと納税でのご支援をお願いします。
- ・ ご支援いただいた企業の皆様は、WRC日本大会を通じて世界にお知らせします。



- ・ ポストコロナ時代の新しい観戦スタイルをデジタル技術で実現し、世界に提案。
- ・ 企業の皆様とWRCを舞台とした共同開発を希望しています。
- ・ こちらのご支援もお願いいたします。



お問い合わせ・ご寄付の申し込みは
豊田市生涯活躍部スポーツ戦略課

電話：0565-34-6950

E-mail：sports-senryaku@city.Toyota.aichi.jp